

# 平成三十一年(令和元年)度 全国学力・学習状況調査の結果

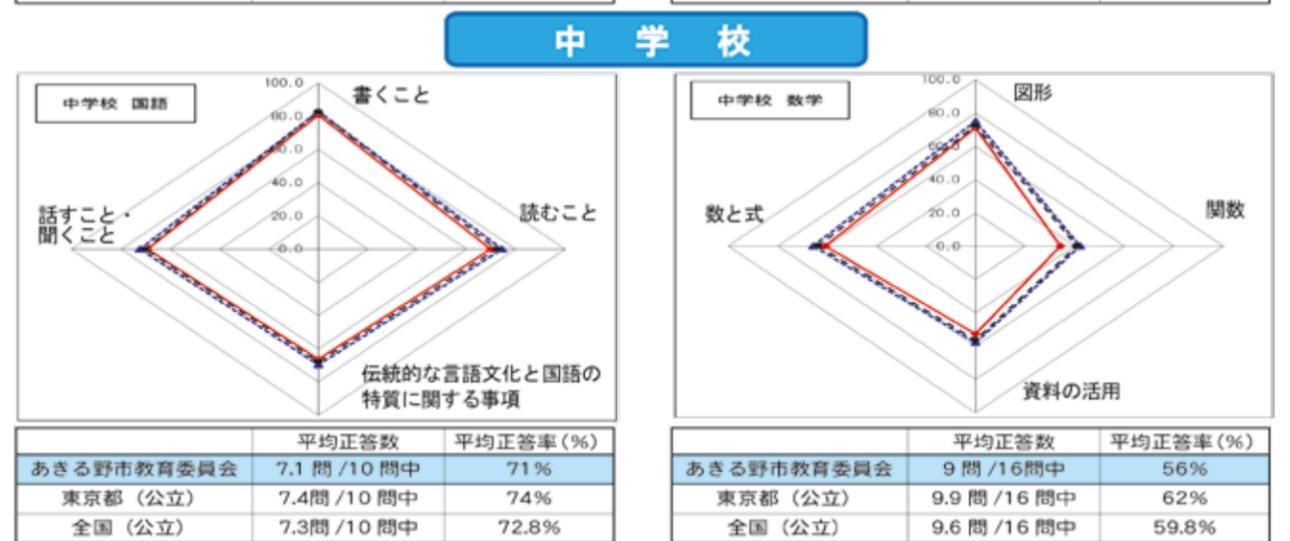
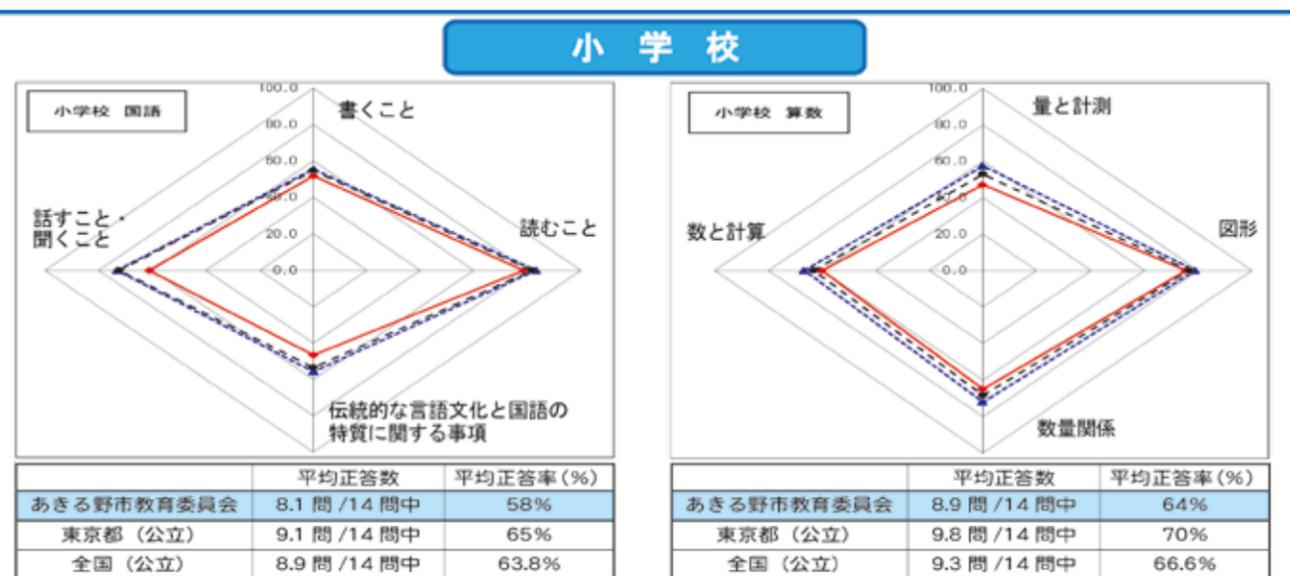
全国学力・学習状況調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、これまでの取組の成果と課題を検証し、学校における児童・生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として実施されています。

左に記載している表が昨年度

の調査結果となります。対象は、小学6年生及び中学3年生です。

## 小学校の結果から

国語・算数における平均正答数及び平均正答率について、東京都とあきる野市を比較する



あきる野市教育委員会  
東京都(公立)  
全国(公立)



## 中学校の結果から

と、両教科において、東京都及び全国の平均より下回っていることが分かります。国語では、話すこと・聞くこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項において、東京都との差が大きくなっていることが分かります。算数では、量と測定において差が大きくなっていること

が分かります。国語・数学・英語における平均正答数及び平均正答率について、東京都及び全国の平均より下回っていることが分かります。国語では、話すこと・聞く

朝食を毎日食べていますか(小学校)				
選択肢	児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
		国語(14問)	算数(14問)	
1	85.1	59.6	65.2	
2	8.9	49.7	55.6	
3	4.7	45.1	56.3	
4	1.3	34.9	41.3	

朝食を毎日食べていますか(中学校)				
選択肢	生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		
		国語(10問)	数学(16問)	英語(21問)
1	86.0	72.6	57.9	56.6
2	9.1	66.3	47.7	48.5
3	2.5	60.0	43.8	53.5
4	2.5	50.6	44.1	44.5

### 児童・生徒質問紙調査の結果から

学習状況調査と併せて、児童・生徒へのアンケートを実施し、家庭生活・生活リズム等についての分析を行いました。左の表が調査結果となります。

小学校では、「毎日朝食を食べていますか」の質問に対して「している」と回答した割合と「全くしていない」と回答し

た割合とで比較すると、肯定的な回答をした児童の平均正答率は、国語24.7%、算数23.9%高くなっていることが読み取れます。また、「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか」の質問に対して「している」の割合と「全くしていない」の割合とを比較すると、「している」と回答をした割合は、国語で22%、数学で13.8%、英語で12.1%高くなっていることが読み取れます。また、「家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか」の質問に対して「している」の割合と「全

くしていない」との割合を同様に比較すると、「している」と回答した生徒の平均正答率は、国語で11.5%、数学で9.6%、英語で6.8%の差が見られます。

小・中学校ともに、毎日朝食を食べたり、家庭内で日常的に学校生活の話ができたりする環境であることで、家庭生活・生活リズム等が安定・充実し、学力面に成果が見られる傾向にあることが分かりました。今後においても、子どもの心身の安定が図られ、学習内容の定着につながっていくよう、家庭と学校が子どもの現状について情報共有を充実させていきたいと考えています。

